

秋のえっがね祭り 内之浦漁港に海の幸を求めて大集合！

今月の表紙

9月13日、内之浦漁港にて、「えっがね、えーがね！&地魚発掘イベント」が開催されました。

当日の特設会場では、朝早くから内之浦の海の幸を求めて多くの人でにぎわいました。最初にHula スタジオ Lopiによるオープニングステージ「フラダンス」が披露された後、様々な催し物がスタートしました。特にえっがねの量り売り、とれたて鮮魚の直売や抽選会などが大盛況で長蛇の列ができていました。

主催のえっがね祭り実行委員会だけでなく、肝付町観光親善大使の（仮）たろうさんや楠隼生ボランティアの皆さんらが大いに盛り上げ、会場は笑顔で溢れていました。



▲新鮮な魚が集まる場所は大漁旗が目印



▲Hula スタジオ Lopi による可憐なフラダンス



▲生簀からえっがねを豪快に掴んですぐに販売します



▲敷地の大きい内之浦漁港では色々な角度から大迫力の花火を楽しめます！

うちのうらロケット祭り花火大会

8月15日、内之浦漁港にて、恒例の「うちのうらロケット祭り花火大会」が開催されました。

当日は、飲食ブースが多数出店され、多くの人でにぎわいました。お盆休み期間という事もあり、帰省した懐かしい仲間との再会を喜ぶ光景が各所で見られました。

20時から始まった花火では、メッセージ花火のほか、内之浦名物の「一尺玉連続花火」など迫力満点の花火が次々と打ち上げられると、漁港内のあちこちから大きな歓声と拍手が湧いていました。



高山流鏝馬令和8年度射手に 永野 公大さん

毎年10月に本番を迎える高山地区の伝統行事「高山流鏝馬」。今年の射手は、高山中学校2年生の永野 公大さんです。

公大さんは空手部に所属し、全国大会に出場する実力を持つスポーツ少年です。2年前の射手、武田 創さんとは同じ空手道場の先輩後輩関係である事から、間近に射手の存在を感じながら過ごしてきました。今回、射手の候補者がなかなか見つからないと聞き、「肝付町の伝統を絶やすわけにはいかない」と覚悟を決め、大役を引き受けました。

8月12日に、高山流鏝馬保存会が正式依頼のために射手宅に訪問した際には、「まずは馬との信頼関係を築きたいです。そして神事を成功させて、伝統を繋いでいきたいです」と意気込みを語りました。



▲左から高山流鏝馬保存会 吉松会長、永野 公大さん、父親の浩草さん

夏の伝統行事 ナゴシドン

8月14日、岸良海岸にて、平田神社の夏の伝統行事「ナゴシドン（夏越祭）」が行われました。ナゴシドンは、岸良地区で600年にわたり受け継がれてきた、地域安泰と五穀豊穡を祈願する伝統行事です。

今年は浦安の舞が坂田 りんさん（岸良学園8年）と、篠原 実緒さん（鹿屋東中1年）の2人によって奉納され、多くの人が見守る中で舞を披露しました。

最後は、半年の穢れをはらい、新たな気持ちで半年を迎えるための茅縄（ちなわ）くぐりが行われ、集まった人々が砂浜を歩き、神事は無事終了しました。



▲ナゴシドンのつなぎ手実行委員会のみなさん



▲舞手の2人は岸良にゆかりのある中学生で今回が初挑戦



▲ナゴシドンを締めくくる茅縄くぐり

CONTENTS：目次

広報きもつき No.256 October 2026

- 02 まちの話題
- 06 町からのお知らせ
- 07 高山やぶさめ祭のお知らせ
- 08 高山やぶさめ祭会場 MAP
- 10 予防接種費用の一部助成について
- 11 肝付町犯罪被害者等支援条例 ほか
- 12 肝付町職員の給与と人事
- 14 肝付町スポーツフェスタ開催のお知らせ
- 16 統計調査員を募集しています
- 17 波野小学校・波野中学校閉校記念事業
- 18 教育委員会コラム
- 19 学校ニュース

- 20 楠隼中学校・高校だより
- 21 セーフティライフくにも岳
- 22 町立病院だより
- 23 身体が喜ぶハッピーレシピ
- 24 本の森
- 25 CIR トウのベトナム探訪 ほか
- 26 子育て支援施設紹介 ほか
- 27 人のうごき ほか
- 28 暮らしのカレンダー